

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2012年6月14日～20日)

平成 24 年(2012 年)6 月 22 日

| H | E | A | D | L | I | N | E | S |
|--|---|---|---|---|---|---|---|--|
| <p>政治</p> <p>下院, 野党「法と正義」(PiS)より提出された諸法案を否決 野党「連帯ポーランド」がポーランド・サッカー協会の解体を要求 野党, サッカー欧州選手権2012終了後に改正法案提出で攻勢 中欧イニシアティブ外相会合 NATO変革連合軍司令官がポーランドを訪問 露スポーツ大臣等がポーランドを訪問 GROM創設者・ペテリツキ将軍が自殺 ズドロイエフスキ文化大臣がロシアを訪問 シェモニャク国防相がイスラエルを訪問</p> | | | | | | | | <p style="writing-mode: vertical-rl;">お問い合わせ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書 在外投票 旅券 戸籍 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl;">【お願い】3か月以上滞在される場合 滞在留届を大使館に提出してください。大規模な事故災害等が発生した場合 所在確認 救</p> |
| <p>経済</p> <p>パヴラク副首相兼経済相が規制・制度改革法案を提出 ポーランド政府が欧州宇宙機関への参加を承認 ポーランドがEUの気候変動政策に反対 豚肉の生産が減少 エクソン社ポーランドがシェールガス開発から撤退 ポーランドの外国人訪問者数が増加 第2回ポーランド・中国アカデミック・フォーラム 再生可能エネルギーの割合が9.4%に上昇 サムスン社が大型冷蔵庫の生産を開始 5月の工業生産が好調を記録 ポーランド・米国閣僚級ビジネス会議</p> | | | | | | | | |
| <p>社会</p> <p>サッカー欧州選手権2012関連で外国人約150名が警察に拘束, アイルランド人1名が死亡</p> | | | | | | | | |
| <p>大使館からのお知らせ</p> <p>ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について サッカー欧州選手権2012期間中の注意事項について 東日本大震災義捐金受付について 文化行事・大使館関連行事</p> | | | | | | | | |
| <p>在ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</p> | | | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 政 | 治 |
| 内 | 政 |

下院、野党「法と正義」(PiS)より提出された諸法案を否決【15日】

15日、最大野党「法と正義」(PiS)より提出されていた、個人所得税(PIT)と法人税(CIT)を一つの書類に統合する法案と、現政権のエネルギー及び気候変動に関する政策を問う国民投票の実施に関する動議案が、下院で与党の反対多数により否決。さらに、同日、左派政党の民主左翼連合(SLD)と「パリコト運動」から提出された教会基金廃止法案も与党の反対多数で否決された。

野党「連帯ポーランド」がポーランド・サッカー協会の解体を要求【19日】

野党「連帯ポーランド」は、ムハ・スポーツ観光相

に対し、ポーランド・サッカー協会(PZPN)は汚職と腐敗にまみれ、運営能力が欠けているとして、同組織の解体を要請する書簡を发出。野党PiS及びパリコト運動も同案を支持。なお、与党「市民プラットフォーム」(PO)は、同議論はEURO2012終了後に行うべきとの見解を示した。

野党、サッカー欧州選手権2012終了後に改正法案提出で攻勢【20日】

20日、最大野党PiSは、サッカー欧州選手権2012終了後に、政府のこれまでの政策を見直し、経済関連の諸法案を提出していくと発表。さらに、左派政党のSLD及びパリコト運動も失業対策を中心に法案を提出していくと表明。

| | |
|---|---|
| 外 | 交 |
|---|---|

中欧イニシアティブ外相会合【14日】

14日、トリエステで開催された中欧イニシアティブ外相会合にポーランドからベルナルトヴィチ外務次官が参加。中欧イニシアティブは、地域協力を推進することを目的として1989年に設立され、アルバニア、オーストリア、ベラルーシ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、チェコ、ハンガリー、伊、マケドニア、モルドバ、モンテネグロ、ポーランド、ルーマニア、セルビア、スロバキア、スロベニア、ウクライナの18か国がメンバー国となっている。

NATO変革連合軍司令官がポーランドを訪問【14日】

14日、NATO変革連合軍司令官アブリエル仏空軍大将(Gen. Stephane Abrial)がポーランドを訪問。シェモニャク国防相と会談し、NATOシカゴ首脳会合の結果、特にスマートディフェンス及び合同演習等について協議。また、これまでの両国間関係及びNATO発展に対する功績を称え、同司令官に対しポーランド十字章が授与された。

露スポーツ大臣等がポーランドを訪問【16日】

16日、ムトコ露スポーツ大臣がポーランドを訪問、ムハ・スポーツ大臣と会談し、サッカー欧州選手権ポーランド・露戦に際し逮捕された、ロシア人サポーターのロシアへの引き渡し問題について協議し

た。また、同日、フェドフ市民社会・人権担当露大統領顧問もポーランドを訪問、チホツキ内相と会談した。

GROM創設者・ペテリツキ将軍が自殺【16日】

16日午後6時頃、ポーランド軍特殊部隊GROMの創設者にして初代司令官であったペテリツキ将軍(Gen. Slawomir Petelicki)がワルシャワ・モコトフの自宅ガレージで死亡しているのが発見された。拳銃自殺を図ったものと見られる。享年65歳。

ズドロイエフスキ文化大臣がロシアを訪問【17日】

17日、ズドロイエフスキ文化大臣は、露を訪問し、メディンスキー露文化大臣と会談。2010年の政府専用機墜落事故記念碑設置問題について協議。

シェモニャク国防相がイスラエルを訪問【17~18日】

17~18日、シェモニャク国防相はイスラエルを訪問。リーベルマン副首相兼外相、バラク国防相らと会談し、エジプト、シリア等、同地域の情勢について意見交換した。また、両国国防相は包括的戦略・軍事技術協力に関する覚書に署名した。今次訪問にはチェニユフ参謀総長、スクシプチャク国防相アドバイザーらが同行し、各カウンターパートとの会合、兵器製造企業の視察等を行っている。

| | |
|---|---|
| 経 | 済 |
|---|---|

パウラク副首相兼経済相が規制・制度改革法案を提出【14日】

パウラク副首相兼経済相がポーランドにおける約

70の規制・制度を改正する法案を提案した。来年発効させることを見込んでいる。最も重要な改正項目は、小規模事業者による付加価値税(VAT)の支払

いに関するもので、小規模事業者の定義を年間売上高120万ユーロ以下から200万ユーロ以下へ引き上げる。VATの納税義務は、通常請求書を発行した時点で発生するが、小規模事業者の場合、取引相手からの支払いがない場合には納税義務が発生しないこととなっている。また、税の還付にかかる期間も標準化する意向。

ポーランド政府が欧州宇宙機関への参加を承認【15日】

ポーランド政府が欧州宇宙機関(ESA)への参加を承認した。秋にはポーランドは同機関の公式加盟国になる予定。ポーランドは加盟によって、年間300万ユーロを支払わないといけないが、少なくとも80%は技術プロジェクトやビジネス契約としてポーランドに戻ってくる見込み。ESA加盟国となることで、ポーランド企業はESAが発注する欧州の宇宙航空関連事業にかかる、入札参加資格を得られることとなる。

ポーランドがEUの気候変動政策に反対【15日】

ポーランドは、欧州委員会が昨年12月に発表した「エネルギー・ロードマップ2050」に関するEU理事会の結論を拒否。このロードマップは、法的拘束力はないものの、将来のEU指令の基礎を形成するものであった。パウラク経済相は、以前ポーランドが拒否した「2050年までに低炭素経済に移行するためのロードマップ」への言及をことごとく削除させ、これにより、「エネルギー・ロードマップ2050」にはポーランドのエネルギー部門を害する二酸化炭素排出削減目標は含まれないこととなった。

豚肉の生産が減少【15日】

中央統計局は、5月の豚肉価格は4月と同じく前年同月比で11%上昇したと発表。農業食品経済研究所によると、国産豚肉の価格が上昇してきており需要も減少している。ポーランド国内では豚肉の生産が低下しており、ドイツ、オランダ、ベルギーからの輸入豚肉によって補完されている。2012年の第1四半期の豚肉輸入額は7%上昇している。

エクソン社ポーランドがシェールガス開発から撤退【16日】

米国最大の石油会社であるエクソン社がポーランドにおけるシェールガス開発を断念。同社は、調査の結果、採算に見合う十分なシェールガスが存在しないとしてプロジェクトの中止を決定した。エクソン社は、2009年～2010年に6か所での採掘認可を与えられていた。専門家はエクソン社の動向は他の投資家の決定に影響を与える可能性があるとしているが、今のところ、他の参加企業は計画を変更しない

旨公表している。パウラク副首相兼経済相は、同社の撤退決定に関し、同社がポーランドにおけるシェールガス開発を断念したのは露ネスネフチ社とのより高い収益が見込まれる契約締結が理由であると説明した。また、同副首相は、シェブロン社がポーランドに中東欧地域の拠点を設立する計画もあり、エクソン社以外の企業はポーランドのシェールガス開発への投資を断念しないことを再確認した。

ポーランドの外国人訪問者数が増加【18日】

観光研究所は、2012年の外国人ポーランド訪問者数は、2011年より100万人以上多い、1,430万人になると予想。同研究所の専門家は、「2012年第1四半期は前年同期比で12%増加し、驚いたことにスウェーデンからの観光客が20%も増加している。ズロチ安がポーランド訪問者数の急速な増加を支え、この傾向は7月以降も更に継続するであろう」と述べている。

外資系企業の2012年の事業見通しは前年よりも楽観的(在ポーランド・ドイツ商工会議所調査)【18日】

在ポーランド・ドイツ商工会議所(AHK)が、中東欧に進出する主にドイツ系の外資系企業1,323社(うちポーランドは186社)を対象に2月～3月にかけて行った調査によれば、2012年の業績が2011年を上回ると回答した企業の割合は44%(在ポーランド企業は48%)、前年同様との回答は44%(同42%)、前年より悪化との回答は16%であった。本年の事業支出については、在ポーランド企業の35%が増加予定、21%が削減予定と回答している。また、95%の企業がポーランドを投資先国として選択したことを後悔しておらず、再度投資するだろうと回答し、政治の安定性を評価している。他方、高い税率や非効率な税務行政に不満を抱いている。

第2回ポーランド・中国アカデミック・フォーラム【18日】

18日、科学高等教育省のダリア・リピンスカ次官は、ワルシャワで開催された第2回ポーランド・中国アカデミック・フォーラムに出席し、「現在、約1,000人の中国人留学生がポーランドに留学しており、その数は年々増加しつつある。また、当地大学では、英語による講義が受けられ、留学生からの興味が増している」と述べた。現在、ポーランドでは24,000人の留学生が勉強している。中国は、中欧からの研究者を対象に5,000人分の博士号学位を授与することを宣言しており、スン・ユーチ中国大使は、「5,000人の博士号の半分はポーランド人に授与していただきたい」と同フォーラムで述べた。

再生可能エネルギーの割合が9.4%に上昇【19日】

ユーロスタットのデータに基づく、ポーランドの再生可能エネルギーの割合は2009年の8.9%から2010年に9.4%まで増加した。EU全体では、2009年の11.7%から2010年に12.4%まで増加した。ポーランドの2010年の実績(9.4%)は、2006年の実績(7.0%)から2.4%ポイント上昇しているが、エストニア(18.2%pt)、ルーマニア(6.3%pt)、デンマーク(5.7%pt)、スウェーデン(5.2%pt)、スペイン(4.8%pt)といった国々は最近5年間で再生可能エネルギーの割合を大きく上昇させている。2020年には、EU全体で20%、ポーランドは15%まで引き上げることとなっている。

サムスン社が大型冷蔵庫の生産を開始【20日】

サムスン電子ポーランド製造社(SEPM)がポズナン近郊のヴロンキで大型冷蔵庫の製造を開始した。同社のSuh社長は10万台の生産規模から開始し、将来生産能力を2倍に拡大する方針と話している。同社は、ポーランド政府から780万ズロチの補助金を得ており、アマカ社から購入した洗濯機や冷蔵庫の生産ライン及び大型冷蔵庫の生産ラインに2億8,240万ズロチ投資することを約束している。

5月の工業生産が好調を記録【20日】

中央統計局(GUS)の発表によれば、5月の工業生産は4.6%増となった。季節調整後の数値は3.

1%増であり、34工業部門のうち23部門が成長した。最も成長率が高かったのは化学産業の15.2%で、電気機器の12.5%、食料加工品12.2%が続いた。サッカー欧州選手権の恩恵を受け建設業も6.2%の成長と好調を記録した。ポーランド経済は減速しつつあるものの、アナリストが予測した程ではない。今後は国内市場の縮小とEU内市場における需要低下が予想されているものの、ロシアやウクライナ向け輸出は成長しつづけている。

ポーランド・米国閣僚級ビジネス会議【20日】

20日、ワルシャワで、ポーランド・米国閣僚級ビジネス会議が開催され、パウラク副首相兼経済相、米国からはレベッカ・ブランク商務長官代行他が出席し、両国間の貿易及び投資の促進やシェールガス開発等のエネルギー問題に関し議論が行われた。過去20年間で米国によるポーランド向け投資は飛躍的に伸び、ポーランドの米国向け投資も増えつつある。2003年に開催された第1回ビジネス会議以降、ポーランドの米国向け輸出は3倍に増加し、米国のポーランド向け輸出も2.5倍に増加した。貿易量は一定規模拡大をみせているものの、パウラク副首相は依然として二国間経済発展のポテンシャルからはほど遠い、と語っている。サンチェス米商務次官は、本対話は両国間における共通の経済発展のために開催したものであり、ポーランド経済はEU内で最も速い速度で発展し、かつ現在の危機下においても好調であり、米国にとって中欧における最大の貿易相手国であると述べた。

社 会

サッカー欧州選手権2012関連で外国人約150名が警察に拘束、アイルランド人1名が死亡【19日】

19日、内務省は、ポーランドで開催中のサッカー欧州選手権2012に関連して、これまでにロシア人9

2人、クロアチア人16人を含む外国人サポーター計153人を拘束したと発表。さらに、ビゴドシチにおいて、アイルランド人サポーター1名が死体でみつかる事件が発生。

大使館からのお知らせ

ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について

当館HP上に、「ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)に関する情報を掲載いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/haga_pamphlet.pdf

サッカー欧州選手権2012期間中の注意事項について

当館HP上に、「サッカー欧州選手権2012期間中の注意事項」を掲載いたしました。詳しくは、下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120426.htm

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成24年9月30日(日)までに延長いたしました。詳しくは下記

HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】「手から手へ。震災後のメッセージ」展示会【5月24日(木)～6月30日(土)】

ワルシャワ市にて、展示会「手から手へ～震災後のメッセージ」(スロバキア文化センター主催)が開催されています。作品は、チェコ及びスロバキアを中心に活動する若手アーティストによるもので、日本人アーティストの作品も含まれます。会場では、展示作品の販売も行われ、収益は東日本大震災の被災地に届けられます。

問合せ先・開催場所: スロバキア文化センター(住所: ul. Krzywe Kolo 12/14, Warszawa, 電話番号: 22 635 77 74, Eメール: instytut@instytutslowacki.pl, ホームページ: <http://instytutslowacki.pl/>)

【開催中】「高畑早苗 WEAR ME 転変無常 2012 Krakow」展示会【6月12日(火)～7月15日(日)】

クラクフにて、「高畑早苗 WEAR ME 転変無常 2012 Krakow」展示会(「マンガ」日本美術技術博物館主催)が開催されています。高畑氏の作品は、世界の様々な文化からインスピレーションを受けた絵画のドレスシェープ作品です。

問合せ先・開催場所: 「マンガ」日本美術技術博物館(住所: ul. Konopnickiej 26, Krakow, 電話: 12 267 37 53, Eメール: muzeum@manggha.krakow.pl, ホームページ: <http://www.manggha.krakow.pl/wydarzenia/wearme>)

【予定】松井彬氏による能の講演及びデモンストレーション【7月2日(月)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、松井彬氏による講演及びミニワークショップを開催します。松井彬氏は重要無形文化財保持者であり、能の普及のため世界各地において献身的に活動しています。参加ご希望の方は、事前にご連絡下さい。

問合せ先・開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00、Eメール: info-cul@emb-japan.pl, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】鶴賀若狭掾氏による新内公演【7月6日(金)】

スタリ・ソチ市にて、第34回伝統音楽フェスティバル(7月2～8日開催)において、鶴賀若狭掾氏による新内公演が行われます。鶴賀若狭掾氏は重要無形文化財保持者であり、日本全国及び世界各国で新内の上演を行っています。

問合せ先: スタリ・ソチ市役所芸術文化センター(住所: Rynek 5, Stary Sacz, 電話番号: 18 446 16 41、Eメール: ckis@stary.sacz.pl, ホームページ: <http://www.festiwal.stary.sacz.pl/>)

開催場所: スタリ・ソチ市聖キング広場(住所: Plac Św. Kingi, Stary Sacz)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@emb-japan.pl
(ご連絡は電子メールでお願いします。)

